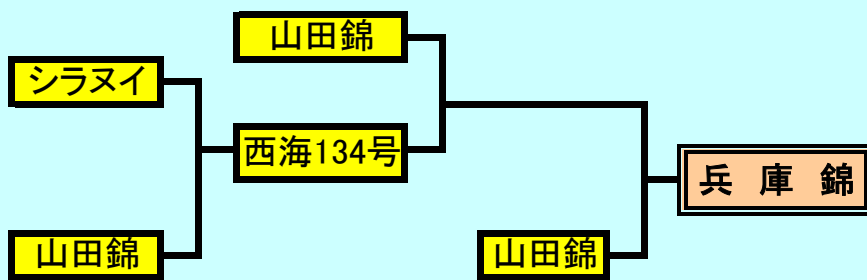


酒米新品種「兵庫錦」の育成

【背景・目的・成果】 本県特産の酒米や日本酒の生産振興を図り、蔵元の特徴を活かした新製品の開発を支援するために、栽培しやすく醸造適性の優れた酒米新品種「兵庫錦」を育成しました。「兵庫錦」は酒造メーカー6社で試験醸造し、現在3社で製品化されています。

【来歴・品種特性】

- ・交配: 1994年 (山田錦 × 西海134号) × 山田錦 ※西海134号: 酒米品種(九州農業試験場)
- ・品種登録: 2011年2月
- ・品種名の由来: 兵庫県の酒米と日本酒生産の発展を願って「兵庫錦」と命名しました



「兵庫錦」の系譜 注) 上段が種子親, 下段が花粉親

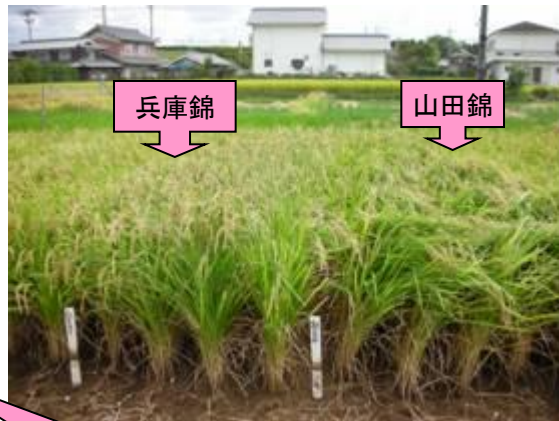


上: 兵庫錦 下: 山田錦

- ・6月上旬に田植えをすると8月下旬に出穂する晩生種
- ・背丈が「山田錦」より25cm短く、倒れにくいので栽培しやすい
- ・千粒重が約28gと大きく、品質が良い(※千粒重: 玄米1000粒の重さ)
- ・こうじが作りやすく、良い酒ができる



開発された日本酒製品



兵庫錦

山田錦

日本酒で乾杯!



左: 兵庫錦

右: 山田錦

【技術の活用】 加東市内で生産し、県内の酒造メーカーの特徴ある日本酒造りの原料米として活用しています。